

次世代ERPセミナー

～ERPを更新するときに考えなければならないこと～

開催日時

2018年5月23日(水) 14:00～16:45 (受付開始 13:30)

会場

オラクル青山センター (〒107-0061 東京都港区北青山2-5-8)

アクセス

銀座線「外苑前駅」4B出口より接続
地下鉄銀座線・半蔵門線・大江戸線「青山一丁目駅」より 徒歩9分
地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」より 徒歩10分

参加料

無料(事前登録制) ※申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

参加対象者

情報システム部門、経営企画部門等の担当役員及び管理職の方々

主催

日本オラクル株式会社

企画・運営

株式会社ビジネス・フォーラム事務局

開催趣旨

デジタルトランスフォーメーションの潮流が加速し、取り巻く事業環境の変化はかつてないスピードで激しさを増しています。モバイル、IoT、クラウド、ビッグデータなど、これまでの常識を破壊する次世代テクノロジーの数々が、ビジネスの変革をリードする時代。しかし、これまでもテクノロジーは大きな転換期を迎えてきました。1990年前半でのクライアント/サーバ・コンピューティングへのシフト、2000年以降のインターネットの普及をはじめ、近年におけるいくつかの大転換期を経て、さらに20年が経過した現在。今、また新たに大きな“転換点”に直面している時期といえるでしょう。

不確実な環境変化への対応、そして次なる成長と競争優位の実現を目指して、各企業がこうしたテクノロジーを中核に据え、グローバルに市場を拡大するなど、様々な施策に打って出ています。

これらを支える**IT戦略において、いかに迅速且つ柔軟な足回りを確保するかが重要な鍵**となっている今、**クラウドという選択は不可欠**といっても過言ではありません。基幹システム(ERP)においても、“クラウドファースト”から“クラウドネイティブ”へのシフトが進み、現在では**4社に1社がクラウドを選択**するなど、**数年以内にはクラウドがオンプレミスを逆転するであろう、まさに本格的な“転換点”に直面**しています。

このような背景から、自社のIT戦略とその基盤の足回りについて、これまでの延長線上ではなく、今、改めて再考する必要があるのではないのでしょうか。

本セミナーは、「次世代ERPセミナー～ERPを更新するときに考えなければならないこと～」をテーマに、**クラウド時代におけるERPの課題とあるべき姿**について、考察していくものです。今日のこのパラダイムシフトの波をどう捉えるか。その中で、改めてこれからのERP戦略をどう構築していくか。その先の成長とビジネス変革につなげるために、その足回りとなるERPの現在地と未来を検証して参ります。



プログラム詳細・ご登録はこちらから

www.b-forum.net/erp0523/

お問い合わせ先・発送元：株式会社ビジネス・フォーラム事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センター Crestビル9F TEL: 03-3518-6531 (受付時間 9:30～18:00 ※土・日・祝日を除きます)

次世代ERPセミナー

～ERPを更新するときに考えなければならないこと～

プログラム

※講演内容は予告なく変更になる場合がございます。

ご挨拶

オープニング・スピーチ

日本オラクル株式会社

14:00～15:00

特別講演

キーノート・スピーチ

クラウドERPをどう検討していくべきか

- 国内IT投資およびERP市場の動向
- クラウドERPの本質の見極め
- クラウドERPの導入の進め方

企業ITは、まさしく今、大きなテクノロジーの転換点を迎えました。多くの国内企業はERPを導入済ですが、中長期的にリプレースを検討する企業も少なくありません。すでに4社に1社がクラウドを選択しており、今後数年以内にクラウドがオンプレミスを逆転する時代において、クラウドERPの真の価値を実例に基づきご紹介いたします。

株式会社アイ・ティ・アール プリンシパル・アナリスト 浅利 浩一 氏

プロフィール 国内製造業で、生産、販売、調達、物流、会計、人事・給与、製造現場／工程システムなど、エンタープライズ全領域のアプリケーション構築に携わる。2002年より現職。
現在は、ERPを中核としたエンタープライズ・アプリケーション全般、SCM、PLMを担当し、可視化からシステム化構想、製品選定、概要設計および導入支援などのプロジェクトを数多く手がけている。また、グループ／グローバルにおけるシステムの設計・構築・展開などのコンサルティングに取り組んでいる。



15:00～15:45

主催講演

ERPのクラウド化と導入事例

SaaS ERPとERPのクラウド化 その違いとメリット

クラウドが次期ERPの有力な選択肢となってきました。しかしその中には「SaaSのERP」と「旧来のオンプレミスERPをIaaS上に載せただけのもの」の2種類が存在するのをご存じでしょうか？両方とも「クラウドERP」というくくりで語られることが多いですが、アーキテクチャ構成・セキュリティ／導入・運用においても全く性格が違うものです。また、SaaSにおけるアドオンやカスタマイズの扱いにも特徴があります。これらの違いとSaaSのメリットを解説いたします。

日本オラクル株式会社

15:45～16:00 休憩

16:00～16:45

特別講演

導入プロジェクト事例

事例に学ぶ、SaaS導入プロジェクト成功の秘訣

ERP導入の真の価値は、「グローバルにそのまま通用できる」「柔軟な経営体質を迅速にインプリメントできる」ところにあります。グローバルをリード企業のBPR手法を内包したビジネス・プロセス・テンプレートをベースに、プロジェクト開始前に導入後の業務改善イメージと経営指標の見える化をシミュレーションできる点が最大の価値をもたらします。これらの経営価値と顧客価値を基軸とした本当に使えるクラウド、そしてそれをいかに使ってもらえるかにフォーカスした導入方法とその事例について解説いたします。

日本オラクル株式会社

16:45 終了